

# [メッセージ] Message

社会の一員として、エネルギー産業の担い手として、  
社会とともに持続的に発展していくために、  
皆さまから信頼される誠実な企業活動を  
実践します。



## サステナブル（「持続可能」）な社会の実現に向けて

このレポートの表題、「ずっと地球で暮らそう。」と、コスモ石油のキャッチフレーズとして長年親しまれております「ココロも満タンに」は、地球レベルでサステナブル（「持続可能」）な社会の実現を目指すコスモ石油グループの経営理念を象徴したスローガンです。

このスローガンの実現に向けて、私たち自身が持続可能であるだけでなく、社会の持続可能な発展のために何ができるかを考え、課題には正面から挑戦し、未来に向けて「価値」を提供していくことが、私たちの務めであると考えます。

そのためには、より盤石で透明な経営の上に「安定した収益」をあげ、ステークホルダーとの関係のなかで着実に「社会的責任」を果たしていかなくてはなりません。

この2つが車の両輪のようにバランスよく回転して初めて、社会からの信頼を得、社会とともに持続的に発展し、価値を生んでいくことができるものと思います。

この車輪を回転させるのは「人」です。「信頼」も人と人の間に生まれてくるものであり、「価値」も個人々人の発想や創意工夫から生まれるものです。私は、一人ひとりが自覚と責任を持って行動し、そして組織

が一人ひとりの力を存分に発揮できる場であること、つまり個人と企業が互いに責任を果たしていくことが、すべての企業活動の基本であり、持続可能な社会を実現させる原動力として、もっとも大切であると考えています。



## 石油エネルギーが抱える課題を原点に

石油エネルギーを中心に事業活動を営むコスモ石油グループは、石油製品の安定的な供給を通じて、日々の暮らしの利便性向上や、産業の活性化に資することを使命とする一方で、石油の大量消費が地球環境に大きな負担を強いてきたと認識しております。したがって、社会とともに持続的に発展していくうえで、環境への取り組みは私たちにとって大きな課題です。私たちは「環境で選ばれるコスモ石油グループ」となることを目指して、事業活動から発生する環境負荷の低減に力を尽くすとともに、事業や国といった枠を超え、地球環境の保全や破壊された自然の修復活動などにも取り組んでいます。環境問題は社会を構成するあらゆる立場の人々が協力し、同時に貧困問題やエネルギー問題といったその背景にある課題に取り組まなくては、根本的な改善には至りません。私たちは、お客さまにも環境貢献活動に参加していただくコスモ・ザ・カード「エコ」を2002年4月に発行し、地域社会やNPO、NGO、各国政府の皆さまとともに、その実現に向けた取り組みを進めています。

また、環境への取り組みと並行して、安全管理の徹底は石油事業にとって必要不可欠な命題です。コスモ石油グループでは石油製品を安全に、安心してご利用いただけるよう、法定・自主の両面から、さらに、未然防止と発生時の早期対応の両面から保安活動を実施するとともに、情報開示を積極的に進めることで、安全確保の徹底を図っています。



## 新しい「価値」の創造に向けて

安定供給を前提に高度経済成長を支えてきた石油はかつては、日本の一次エネルギーの8割を占めていましたが、オイルショック以降、その割合は漸減し、今は約5割となっています。一方で、依然石油はエネルギー源として、そして、さまざまな素材として私たちの生活を支えています。

このようななかで、私たちは石油に内包する環境負荷を低減し、石油製品の品質向上を図るとともに、お客様への価値創造を目指して、カーライフの利便性／安全／安心の向上をテーマとしたSS展開やサービスの提供に取り組んでおります。

また、限りあるエネルギー資源と地球レベルの環境保全が問われるなか、長期的に、安定的なエネルギー供給を続けていくため、総合エネルギー企業を目指した事業展開をしています。そのなかで、新しい価値を提供していけるよう、次世代エネルギーの研究や開発、事業化にも取り組んでいます。最も環境への負荷が小さい再生可能なエネルギーの分野では、水素の燃料電池や風力発電などに挑戦しています。

## コーポレートガバナンス体制の強化を目指して

より効果的に、そして効率的に、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めるために、コスモ石油グループでは経営体制の強化を図っております。

2004年4月には、これまで個々に取り組んできた倫理、人権、安全、環境といった基本的な課題について、経営が一元的に判断できる体制を整えました。また、2004年7月からは、より機能的で透明な経営ができるよう、経営の監督と執行の役割分担を明確にし、それぞれの機能を強化しております。2003年度からスタートした全社的なリスクマネジメントのサイクルも今年で2年目に入り、定着してまいりました。

## 皆さまから信頼される誠実な経営を目指して

冒頭にも述べましたが、あらゆる取り組みに命を吹き込み、持続可能な社会を実現して行く根幹は「人」であり、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の考え方であると思います。そのために、組織として、一人ひとりが存分に力を発揮できる場であることを目指し、人事制度や労働環境の整備を進めています。

さらに、お客様からの信頼は、一人ひとりの高い倫理観と責任感を持った行動、人権を尊重する考え方、平たく言えばすべての人を大事にするココロに支えられて初めて、得ることのできるものです。そのような企業文化をグループ全体で育むため、啓発・教育を行うとともに、企業倫理委員会と人権委員会を設置し組織体制を整えました。また、社員の声を聞くための制度を設け、企業倫理の徹底を図っております。

2004年3月に、「コスモ・ザ・カード」の会員情報の一部が社外に流出するという事態が起きました。皆さまに大変ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げるとともに、今後このようなことのないよう、業務のやり方を見直し、対策を講じ、思いを新たに、企業倫理の徹底を図ってまいります。

「環境報告書」を発行してから3年が経ちました。根本的なところに立ち返ってみますと、報告書というのは企業としての考え方を社会に伝える恰好の機会です。そこで、コスモ石油グループが経営理念を具体化していくにあたってのビジョンや取り組みを包括的に伝えるべく、このたび、「サステナビリティレポート」にリニューアルいたしました。サステナビリティレポートは初めての試みであり、不十分な点もあると思います。企業情報を正確に、適切に、よりオープンに開示していくことと同時に、皆さまの声を聞き、経営に反映させていくことは当社が社会とともに持続的に発展していくうえで非常に重要なことです。皆さまの忌憚のないご意見やご指摘を、ぜひお聞かせください。

代表取締役社長

木村 彌一

木村 弥一

